

# ニュータイカライトR + wood

## 梁 2 時間耐火 (表面木質系仕上)

2 時間耐火被覆構造 国土交通大臣認定 FP120BM-0524-1(2)  
FP120BM-0524-1(3)

### 標準施工手順書

2025 年 4 月版

## 目次

1. 初めに-----	3
2. 総則-----	3
3. 安全対策について-----	4
4. 保管・運搬上の注意・禁止事項-----	4
5. 材料-----	5
6. 表面仕上げ材-----	7
7. 施工方法-----	9
8. 認定番号-----	14
9. 鉄骨梁の規格①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材-----	15

## 1. 初めに

ニュータイカライト R は、2018 年以降に各種の耐火構造認定を取得した工法用の最新の耐火被覆材です。耐火構造の認定制度では、最新の技術的知見により適用範囲や条件の見直しが行われており、特に大臣認定の厳格化以降、仕様の記載内容が緻密化されており、本製品による工法は、適用範囲の評価で適用可能な仕様バリエーションを最大限広げた認定内容になっています。従来の JIS 規格鋼材に加え、大臣認定鋼材など多くの材種の鋼材に適用可能です。

このたび、表面の全面又は一部に可燃物である木材を取り付けた仕様にて耐火認定を取得いたしました。内装木質化により、カーボンニュートラル、持続可能な資源の利用、快適空間の実現に貢献します。

### \*注意事項

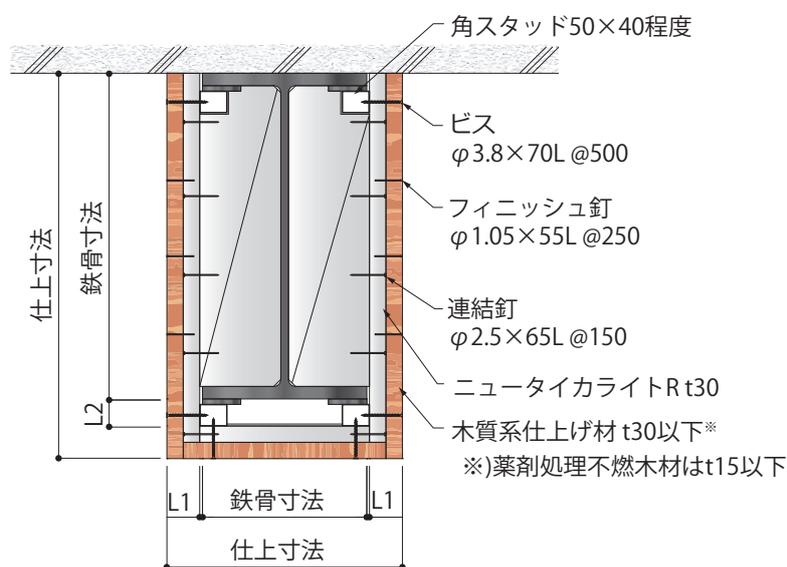
この「標準施工手順書」は、必ず施工前に注意深く読み、よくご理解ください。

この「標準施工手順書」は、この施工全般にわたって、いつでも確認できるように保管しておいて下さい。

## 2. 総則 (1)

### 2-1 適用範囲

この標準施工手順書は、ニュータイカライト R + wood (表面木質系仕上) 工法 2H について適用する。



独立梁 (基本断面図)

## 2. 総則 (2)

### 2-2 周知徹底

ニュータイカライト R+wood 2Hの施工に際しては、この標準施工手順書に基づいて事前説明会やその他の方法で作業員全員に周知徹底する。

### 2-3 施工

施工業者は、この標準施工手順書に基づき、正確かつ確実に施工しなければならない。この標準施工手順書に明記されていない事項又は、疑問点がある場合は、日本インシュレーション(株)の担当者と協議し、施工内容を検討する。

### 2-4 報告

施工業者は、工事が完了した時点で建設元請業者の監督員に報告し検査を受ける。

## 3. 安全対策について

**3-1** 現場の作業は、安全を第一とし、各々が自覚した行動をとり、もし危険のある段取や安全管理が徹底出来ない場合は、作業を中止して見直しを図り全員一体となって、安全を最優先し、無事故無災害で工事を完成させることを基本とする。

## 4. 保管・運搬上の注意・禁止事項

**4-1** 製品の保管(貯蔵)に際しては、雨がかりのある場所その他水気の多い場所に製品を保管(貯蔵)しないでください。製品が吸水すると強度が低下するなどの恐れがあり、藻類やカビなどが発生するなどの恐れもあります。水がかりが予想される場所に保管(貯蔵)せざるを得ない場合は必ず防水シートなどで製品に水がかからないようにしてください。

**4-2** 製品は直射日光を避けて保管(貯蔵)してください。特にフィルム梱包されている場合は日光によりフィルムが劣化して破損し、製品への保護能力を失う恐れがありますので注意してください。

**4-3** 製品はできるだけ水平で平坦な場所に保管(貯蔵)してください。また、1mを超えるような積載、或いは立てかけによる保管(貯蔵)はしないでください。何らかの力が製品に加わった際に製品が崩れる・落下する・転倒する・変形するなどの恐れがあります。

**4-4** ダンボールケース入りの製品は、ダンボールケースを立てて(内包される製品が立つ方向で)保管(貯蔵)願います。横倒しで保管(貯蔵)した場合、物を載せるなどの力が加わると内包される製品が破損しやすくなります。

**4-5** 製品を車両・キャリアーなどで運搬される場合は、できるだけ平積みにしてシートで養生するなど荷崩れが起こらないようにしてください。また、製品の運搬・荷積み・荷降ろしの際には接触などで製品の角部や小口などが破損しないように十分注意してください。作業前にクッション材などで製品を保護することを推奨します。

**4-6** 板状製品は木端立て(板面を垂直)にして持ち運びしてください。板面を水平にして持ち運ぶと、たわみや振動で製品が破損するなどの恐れがあります。

## 5. 材料 (1)

### 5-1 主構成材料

#### 5-1-1 鉄骨梁

形状・寸法：H - 400 × 200 × 8 × 13mm 以上（表面処理塗装：有機量 100 (± 10) g/m<sup>2</sup> 以下)

規格：下記のいずれかとする。

① 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400、SS490	② 建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400、SN490
③ 溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400、SM490、SM520	④ 溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114) SMA400、SMA490
⑤ 上記①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材 (表 1 に示す)	

※ただし、⑤は建築基準法第 37 条第二号に適合するものに限る。

建築基準法第 37 条第二号抜粋：指定建築材料ごとに国土交通大臣が定める安全上、防火上又は衛生上必要な品質に関する技術的基準に適合するものであることについて国土交通大臣の認定を受けたもの。

#### 5-1-2 耐火被覆材

商品名：ニュータイカライト R (ゾノライト系けい酸カルシウム板)

規格：日本インシュレーション(株)製品規格による

比重：0.25 以上

厚さ：30mm 以上

標準寸法：1000 × 610、910、1525mm

### 5-2 副構成材料

※下地材の断面形状及び寸法を強度計算等で安全性を検討し形状・寸法を決定してください。

#### 5-2-1 鋼製下地材

材質：鋼製又はステンレス鋼製（表面処理メッキ品又は錆止め塗装：有機量 70 (± 7) g/m<sup>2</sup> 以下)

ランナー、角スタッド：鉄骨上下フランジ部に水平方向に取り付ける鋼製下地材

下記①～②の 1 つもしくは組み合わせ

① □-40 × 27 × 30 × 0.55mm 以上

② 上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの

(例：□-40 × 50 × 0.45mm、L-40 × 40 × 1.2mm、L-50 × 50 × 0.8mm)

スタッド：上下ランナーをつなぐ鋼製下地材補強材（あり又はなし）

① □-40 × 45 × 0.45 以上

② □-25 × 50 × 5 × 0.4mm 以上

③ 上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの

連結材：ランナーと鉄骨梁を接合するための下地材（あり又はなし）

(または必要に応じて取り付け鉄骨梁に固定するための溶接捨て鋼材：

補助材〔平鋼 40 × 1.6mm の断面以上、長さ 40mm 以上〕への接合も同様)。

鉄骨梁に直付けする場合は不要。

## 5. 材料 (2)

一般連結材の場合（溶接又はガスピンにて固定する場合に使用）

下記①～②の1つもしくは組み合わせ

① 平鋼 -40 × 1.6mm 以上

② 折り曲げ金物（上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの）

クリップ式特殊連結材の場合（無溶接接合する場合に使用）

下記①～②の1つもしくは組み合わせ

① 平鋼 -40 × 0.8mm 以上

② 上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの

はね出し長さ - 20mm 以下

かかり代 - 25mm 以上

配置間隔 - 1000mm 以下



### 5-2-2 鋼製下地材（ランナー、スタッド、連結材）の固定用留付材

鋼製下地材は鉄骨部（溶接捨て鋼材も可）へ以下方法で固定する。

※ 構造上安全なピッチの選定が必要です。

#### ① ガス打ち釘による圧着

材 質：鋼製（亜鉛メッキ処理）

呼び寸法：φ 3.0mm × 長さ 14mm 以上

留付本数：1 箇所あたり 1 本以上

#### ② 溶接による圧着

留付箇所：1 箇所あたり 2 点以上

留付間隔：1000（± 100）mm 以下

### 5-2-3 ケイカルスペーサー（被覆板同質材）

材 質：けい酸カルシウム板（JIS A 5430）

種 類：タイプ 3

比 重：0.25 以上

寸 法：幅 35mm 以上 高さ 374mm 以上 奥行 96mm 以上

ウェブと被覆材の間に隙間なく設置（ただし鉄骨入隅部、ランナーとの取り合い部は除く）

留付間隔：1000（± 100）mm 以下

### 5-2-4 ケイカルスペーサーの固定材

下記①～②の組み合わせ

#### ① 鉄骨梁とケイカルスペーサー〔被覆板同質材〕の設置面に塗布する接着剤

材 料：ボンデスト（けい酸ナトリウム系接着剤）

使用量：1000g/m<sup>2</sup> 以上

#### ② 鉄骨梁下フランジとケイカルスペーサー〔被覆板同質材〕の隙間に設置するクサビ

材料：けい酸カルシウム板（JIS A 5430）タイプ 3 0.5TK（※鋼製板加工品でも可）

幅：20（± 2）～ 50（± 5）mm

留付間隔：1000（± 100）mm 以下

## 5. 材料 (3)

### 5-2-5 耐火被覆板（ニュータイカライト R）固定用留付材（釘、ビス）

材 質：鋼製又はステンレス鋼製

寸 法：φ 2.5mm ×長さ 65mm 以上（耐火被覆側板と底板の固定、及びケイカルスペーサーへの固定）  
φ 3.5mm ×長さ 40mm 以上（鋼製下地材への固定）

留付間隔：150mm 以下

## 6. 表面仕上げ材（1）

### 6-1 耐火被覆材「ニュータイカライト R」の表面仕上げ材

仕 様：下記①～③のいずれか、又は仕上げなし

- ① 表面木質系増し張り仕上
- ② 表面塗装仕上
- ③ 表面クロス仕上

#### 6-2-1 表面木質系増し張り仕上げ材の場合

種 類：下記①～⑤のいずれか

- ①合板
- ②単板積層材（LVL）
- ③集成材
- ④製材
- ⑤薬剤処理不燃木材（NM - 1050、NM - 3840）

※ NM - 3840 の場合、t9.5mm 以上の石膏ボード（JIS A 6901）増し張り必要

密 度：①～④ 0.35 g /cm<sup>3</sup> 以上、⑤ 0.6 g /cm<sup>3</sup> 以上

厚 さ：①～④ 30mm 以下、⑤ 15mm 以下

#### 6-2-2 木質系仕上げ材固定用留付材（釘、ビス）

※ 公共建築工事標準仕様書に基づいて脱落しない安全なピッチで施工する。

材 質：鋼製又はステンレス鋼製

補強下地部への留付

寸 法：φ 3.8mm 以上（長さ 70mm 以下）

留付間隔：水平方向 450mm 以下（目安：側板水平方向 1メートルあたりにつき 3箇所）

補強下地部以外（あり又はなし）

寸 法：φ 1.05mm 以上×長さ：木質系仕上材厚+掛かり代 20mm ~ 40mm

留付間隔：水平方向 300mm 以下（目安：側板水平方向 1メートルあたりにつき 4箇所）

鉛直方向 300mm 以下

※不燃木材を使用する場合、種類によっては金属を腐食させ木材が劣化する可能性がありますので、使用する不燃木材の種類を確認して留付け材種を選定してください。

## 6. 表面仕上げ材 (2)

### 6-2-3 増し張り石膏ボード固定用留付材

※⑤薬剤処理不燃木材 (NM - 3840) の木質系仕上材を取り付ける場合、被覆板の表面に予め石膏ボード (9.5mm 以上) を以下の留付材で増し張りする必要があります。

石膏ボード固定用留付材は以下①～②

- ① ステープル：幅 4mm 以上、長さ 32mm 以上
- ② ビス (あり又はなし)： $\phi$  3.5mm × 35mm 以上

### 6-2-4 木質系仕上げ材取付用接着剤 (上記の増し張り石膏ボード取り付け時も同様)

材 質：下記のいずれか

使用量：100g/m<sup>2</sup>以上 (接着剤が必要な場合)

材 料：下記 (1)～(21) のいずれか

- (1) 酢酸ビニル樹脂系、(2) 合成ゴム系、(3) アクリル樹脂系、(4) ポリサルファイド系、
- (5) シリコーン系、(6) ウレタン樹脂系、(7) ポリアミド系、(8) エポキシ樹脂系、(9) せっこう系、
- (10) 炭酸カルシウム系、(11) セルロース系、(12) フェノール樹脂系、(13) シアノアクリレート系、
- (14) ポリエーテルアクリレート系、(15) レゾルシノール系、(16) ポリビニルアルコール系、
- (17) 塩化ビニル系、(18) ポリオレフィン系、(19) ポリエステル系、(20) エチレンビニルアセテート系、
- (21) けい酸ナトリウム系

## 7. 施工方法 (1)

施工は以下の手順で行います。

### 7-1 耐火被覆 標準施工要領

#### 7-1-1 ニュータイカライト R 施工準備

##### (1) 鉄骨梁の清掃

施工に先立ち、鉄骨面は施工に支障のないように清掃する。

##### (2) 鉄骨梁のさび止め塗装

さび止め塗装が必要な場合は鉄骨表面の素地調整を行い、さび止め処理などの塗装を行う。

#### 7-1-2 ニュータイカライト R 下地鋼材の取付

##### 1) 下地材の設計

- ・下地材の断面形状及び寸法を強度計算等で安全性を検討し形状・寸法を決定する。

##### 2) 下地材の取付

- ・必要に応じて、「5-2-1 鋼製下地材」に記載されている連結材を取付位置に固定する。

##### 3) ランナー（スタッド固定用又は被覆材下地材）の取付

- ・取付位置に合わせ、留付間隔は 1000mm 以下となるようにランナー固定用ビス等で固定する。
- ・鉄骨梁に直接溶接する場合は、連結材取り付け前に、スタッド連結材の固定位置に補助材の捨てプレートを取り付けることができる。

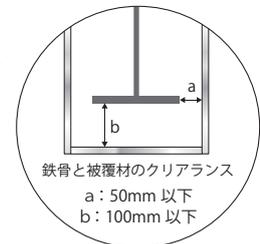
##### 4) スタッド（被覆材側板及び底板を固定する補強材）の取付（必要な場合）

- ・目地の連結及び補強が必要な場合、上下ランナーに取り付ける。

※ 鉄骨とニュータイカライト R とのクリアランスに耐火認定上の制限がありますので、仕上がり寸法に注意して下地鋼材を設置してください。

鉄骨とニュータイカライト R 側板とのクリアランス：50mm 以下

鉄骨とニュータイカライト R 底板とのクリアランス：100mm 以下



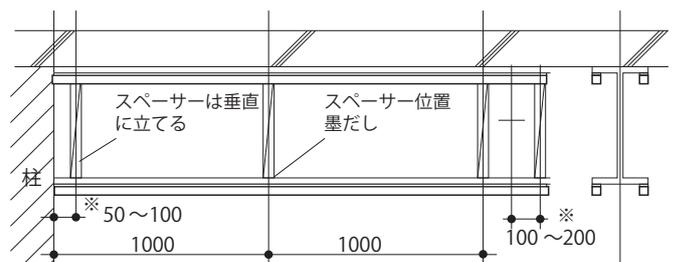
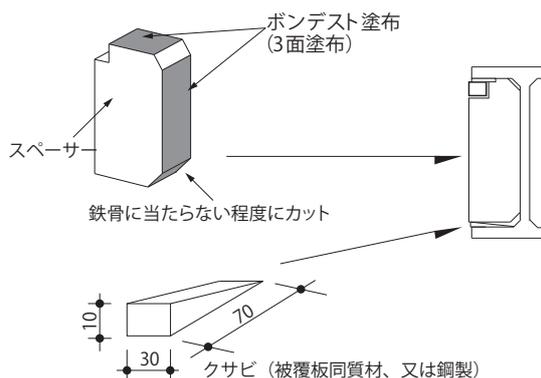
#### 7-1-3 スペーサーの取付

##### 1) スペーサーのマーキング

- ・ニュータイカライト R 側板割付けに従い鉄骨フランジ小口に@ 1000 ピッチでスペーサー位置をマーキングする。

##### 2) スペーサーの取付

- ・梁及び取付用軽鉄下地（角スタッド等）の形状に合わせて、スペーサーを裁断する。
- ・裁断したスペーサーの鉄骨設置面にボンドストを塗布する（3 面）。
- ・鉄骨梁にマーキングされた位置にスペーサーを設置し、クサビをスペーサー下部に打ち込む。



## 7. 施工方法 (2)

### 7-1-4 ニュータイカライト R の取付

#### 1) ニュータイカライト R の割付

- ・設計図、施工図及び、鉄骨寸法によりニュータイカライト R の割付を行う。
- ・ニュータイカライト R 側板の幅は、( 梁せい寸法 ) + ( 鉄骨とニュータイカライト R 底板との間隔 ) + ( ニュータイカライト R 厚さ ) となる。

#### 2) ニュータイカライト R の切断

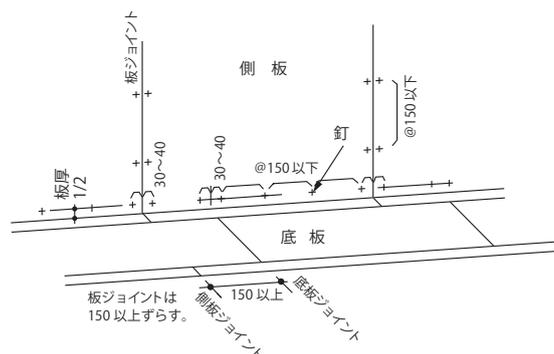
- ・ニュータイカライト R の切断は、割付により丸ノコ等を用いて切断を行う。
- ・ニュータイカライト R に面取り加工を施す場合は、最大 5 mm 以下とする。

#### 3) ニュータイカライト R の目地仕様

ニュータイカライト R の目地は千鳥仕様で施工を行う。

#### 4) ニュータイカライト R の施工方法

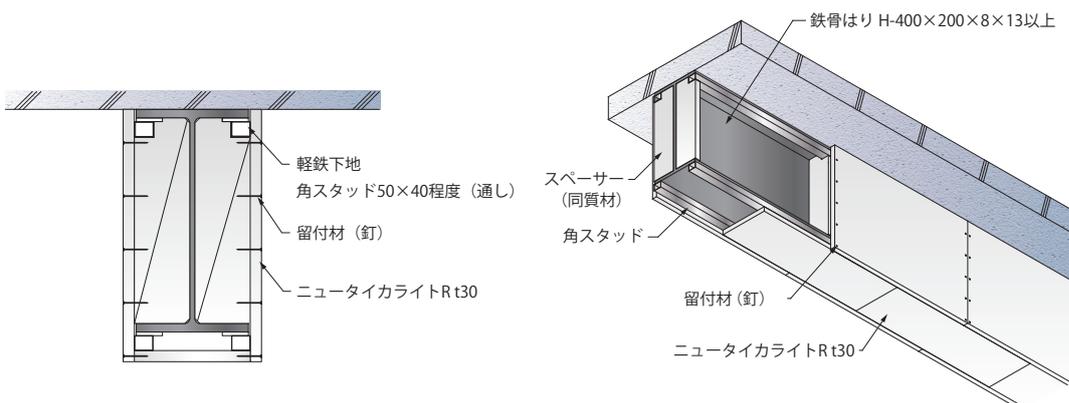
- ・ニュータイカライト R 側板をスペーサー材に釘で固定する。
  - ・ニュータイカライト R 底板は小口面に対してニュータイカライト R 側板から釘で固定する。
  - ・釘の留付間隔は @150 以下とし、梁底角部に歪みがないかラインを目視で睨み確認する。
- ※上記に加え、必要に応じて軽鉄下地 (ランナー、角スタッド等) にビスを留付け安全性を確認する。



- ・ニュータイカライト R 同士の取り合い部や突起物等のニュータイカライト R の切り欠き部は、取り合い部クリアランスを最小限で施工する。取り合い部に隙間が生じた場合は目地処理材を施す。
- ・目地部 (小口) にボンデストを点又は帯状に塗布し、目地部を補強することもできる。
- ・パネルゾーンで異種耐火被覆材と取合う場合は、梁の端部を被覆材で塞ぐ。

#### 5) ニュータイカライト R の目地仕上げ

ニュータイカライト R 目地部に隙間や少量の欠けが生じた場合、又は塗装やクロス等の仕上げが必要な場合には目地処理材を充てる。



## 7. 施工方法 (3)

### 6) デッキ詰め

- ・スラブ形状がフラットでない場合は、デッキ形状に合わせてニュータイカライト R を加工し取り付ける。
- ・デッキとの隙間には、補修材（ニュータイカライト R スラリー、有機系シーリング材など）を充填する。

**デッキ詰めの方法**

① デッキコマ取り付け(先付け方式)

側板を固定する前に、いったんデッキにあてがいデッキ穴の両端を側板に転記する側板を取り外し、記した位置に工場にて裁断したデッキコマを両側から斜めに2本釘打ちし取り付ける。(接着剤を併用するとより強く固定できる) デッキコマと一体化した側板を再びデッキにあてがいスペーサーに釘打ちして固定する。

② デッキコマ(連続型)取り付け(後付け方式)

側板取り付け後、工場にて裁断したデッキコマ(連続型)を側板に釘で上張りする。

※上記以外の納まりが発生する場合には工事責任者等に確認し、確実な固定方法で施工する。

デッキ形状を測定し(複数箇所測定する)  
約2mm小さい寸法で工場加工とする。

### 7) スリーブ貫通処理

- ・鉄骨にスリーブ穴が開いている場合は、耐火欠損とならないように円筒状の耐火被覆板（製品名：ニュータイカライト R カバー）を設置する。

**作業手順**

- ・鉄骨スリーブ穴位置と大きさを確認する。  
(スリーブ径は社内規格による。)  
(スリーブは底板長さにプレカットする。)
- ・スリーブを組立てる。  
スリーブを組合せ針金で結束する。又は、組合せ角から釘を交差させるように打ち込む。  
(複数片組み合わせる場合には中間部にも打ち込む)  
(釘がスリーブ内面に飛び出無いうように注意)  
(接着剤を併用すると良い)
- ・スリーブを挿入する。  
スリーブががたつく様であれば、スペーサー材をスリーブ受けとして下に取り付ける。
- ・側板にスリーブ穴を開ける。  
スリーブ位置を実測し穴開けドリル又は手鋸で穴を開ける。(事前に寸法が分かればプレカットとする。)
- ・側板を取付ける。  
スリーブ小口に釘打ちし固定する。  
スリーブジョイント部に隙間段差等出来たときはスラリー処理する。

### スリーブ貫通カバーサイズ一覧

適用する認定番号: FP120BM-0524 (H-400×200×8×13以上)

鉄骨はりスリーブ孔 [mm]	内径 <sup>*1</sup> [mm]	材厚 <sup>*2</sup> [mm]	片/本
100	27	30	2
125	49	30	2
150	76	30	2
175	102	30	2
200	127	30	2
225	140	30	2
250	165	30	3
275	194	30	3
300	216	30	3
325	242	30	4
350	267	30	4
375	267	30	4
400	319	30	4
* 425	350	30	6
450	374	30	6
* 475	396	30	6
500	426	30	6

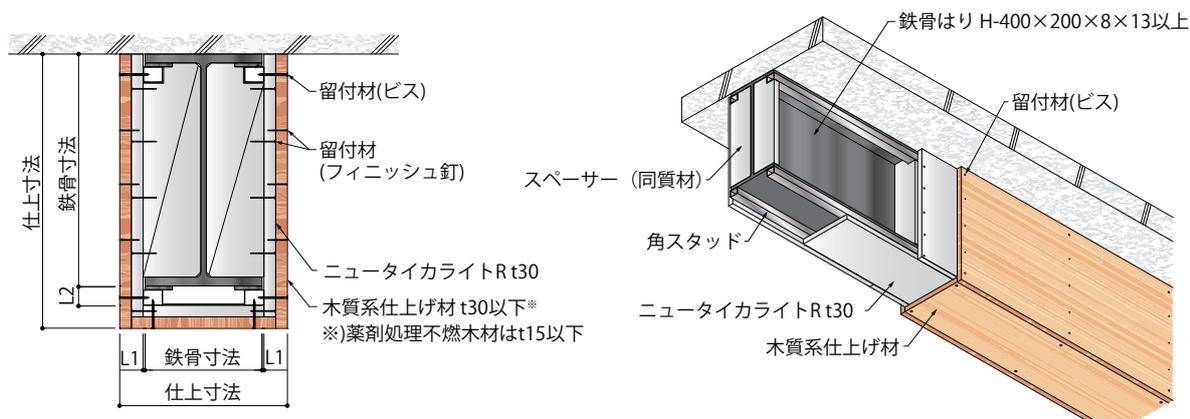
- 注意点
- 表中の\*マークのサイズは特殊加工品となり、通常品とは納期やコストが異なります。
  - ※ 1) 内径は誤差範囲の最小値を記載しています。
  - ※ 2) 材厚は誤差範囲の最小値を記載しています。

## 7. 施工方法 (4)

### 7-2 表面仕上げ材 標準施工要領

#### 7-2-1 表面木質系仕上げ材の取付

- 1) 木質系仕上げ材の割付
  - ・設計図、施工図及び、ニュータイカライト R 仕上寸法により表面木質系仕上げ材の割付を行う。
  - ・木質系仕上げ材は必ずしも全面に取り付ける必要はなく、部分的に耐火被覆材が露出しても構わない。
- 2) 木質系仕上げ材の切断
  - ・木質系仕上げ材の切断は、割付により丸ノコ等を用いて切断を行う。
  - ・小口面は設計図、施工図をもとに突きつけ、及び、相じゃくり加工とすることができる。
- 3) 木質系仕上げ材の施工方法
  - ・接着剤を併用し木質系仕上げ材を上下の軽鉄下地（ランナー、角スタッド等）にビスで固定する。  
※留付け箇所はダボ穴加工の後、埋木処理する事ができる。
  - ・上記に加えて、木質系仕上げ材をニュータイカライト R（側板・底板）の設置面に目立たないフィニッシュ釘等で固定する



#### 7-2-2 木質系仕上げ材の表面塗装など

木質系仕上げ材（不燃木を除く）を用いる場合、表面に以下の処理を施す事ができる。  
 (有機質 使用量の合計：113g/m<sup>2</sup> 以下)

- 1) 素地調整
 

材料：①、②、又は組み合わせ

  - ①セラックニス（JASS 18 M-308）
  - ②ポリエステルパテ（JASS 18 M-110）
- 2) 1液形油変性ポリウレタンワニス塗り
 

材料：①～③、又は組み合わせ

  - ①油性目止め剤
  - ②油性顔料着色剤（JASS 18 M-306）
  - ③ 1液形油変性ポリウレタンワニス（JASS 18 M-301）

## 7. 施工方法 (5)

### 3) 2液形ポリウレタンワニス塗り

材料：①～⑤、又は組み合わせ

- ①合成樹脂着色目止め剤
- ②溶剤系顔料着色剤
- ③2液形ポリウレタンシーラー (JASS 18 M-302)
- ④2液形ポリウレタンサンジングシーラー (JASS 18 M-302)
- ⑤2液形ポリウレタンワニス (JASS 18 M-502)

### 4) クリヤラッカー塗り、2液形ポリウレタンクリヤラッカー塗り

材料：①～⑨、又は組み合わせ

- ①合成樹脂目止め剤
- ②水性目止め剤
- ③溶剤系着色剤
- ④油性染料着色剤
- ⑤ウッドシーラー (JIS K 5533)
- ⑥2液形ポリウレタンシーラー (JASS 18 M-302)
- ⑦サンジングシーラー (JIS K 5533)
- ⑧2液形油変性ポリウレタンサンジングシーラー (JASS 18 M-302)
- ⑨クリヤラッカー (JIS K 5531)

### 5) ステイン塗り

材料：①～④、又は組み合わせ

- ①セラックニス (JASS 18 M-308)
- ②油性染料着色剤
- ③油性顔料着色剤 (JASS 18 M-306)
- ④ボイル油及びあまに油 (JIS K 5421)

### 6) 木材保護塗料塗り

材料：木材保護塗料 (JASS 18 M-307)

### 7) 合成樹脂調合ペイント塗り

材料：①～③、又は組み合わせ

- ①木部下塗り用調合ペイント (JASS 18 M-304)
- ②合成樹脂エマルジョンパテ (JIS K 5669)
- ③合成樹脂調合ペイント (JIS K 5516、1種)

### 8) 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

材料：①～④、又は組み合わせ

- ①合成樹脂エマルジョンパテ (JIS K 5669)
- ②合成樹脂エマルジョンシーラー (JIS K 5663)
- ③合成樹脂エマルジョンペイント (JIS K 5663、1種、2種)
- ④つや有合成樹脂エマルジョンペイント (JIS K 5660)

## 8. 認定番号

### ■ ニュータイカライト R+wood

<b>FP120BM-0524-1(2)</b>	… 表面仕上	木質材、及び、薬剤処理不燃木材 NM-1050 の場合
<b>FP120BM-0524-1(3)</b>	… 表面仕上	薬剤処理不燃木材 NM-3840 の場合

#### 《補足》

木質系仕上材を上張りしない場合は下記の認定番号となります。

- ・ 表面ニュータイカライト R : FP120BM-0524-1 (1)
- ・ 表面石膏ボード上張り : FP120BM-0524-1 (4)

※各仕様に関しては別途認定書等をご確認ください。

## 9. 鉄骨梁の規格①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

表 1 ①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	記号の例
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0120	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0121	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0122	BT-HT440-SP
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0128	HBL325,HBL355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0129	HBL325,HBL355
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0130	HBL385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0131	HBL385
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0135	HBL325,HBL355
建築構造用高降伏点 490N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0186	BT-HT400C
建築構造用高性能 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0191	KCL A385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 級 TMCP 鋼材	MSTL - 0201	T-DAC385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0300	BT-HT385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0303	HBL385
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0306	HBL440
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 級 TMCP 鋼材	MSTL - 0392	T-DAC385
建築構造用 490MPa 級 TMCP 厚鋼板	MSTL - 0393	CK-HYS325
建築構造用 520MPa 級 TMCP 厚鋼板	MSTL - 0409	CK-HYS355
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0410	HBL440
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0413	BT-HT385
建築構造用高性能 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0481	KCL A385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0550	HBL385-L
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9001	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9002	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9003	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9004	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9005	SA440
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 9006	KCL A325,KCL A355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 9010	T-DAC325,T-DAC355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 9012	BT-HT325,BT-HT355
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (広畑製作所)	MSTL - 0069	MSDH400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (君津製作所)	MSTL - 0070	NSDH400,NSDH400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (広畑製作所)	MSTL - 0362	NSDC400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (君津製作所)	MSTL - 0395	NSDH400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 ZAM (東予製作所)	MSTL - 0064	MSM-CK400, MSH-HK400
建築構造用冷間圧延溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 ZAM (市川製作所)	MSTL - 0523	MSM-CK400

・一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく

